科目名	地域文化論	英文表記	Regional Culturology	平成23年3月18日
科目コード	4019			
教員名：下郡剛 技術職員名：				作成

対象学科／専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科	4年	必	履修	1単位	講義	前期

目標及び評価方法	目標項目	評価方法及びその割合
	①沖縄地域社会の理解を目的とし、沖縄の文化・歴史・地理風土などについての認識を深める。	①（100%）ＰＢＬ研究発表で評価する（但し評価の対称は、取り組み・討論の内容等を含む）。
	②	②（%）
	③	③（%）
	④	④（%）
	⑤	⑤（%）

高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	全プログラム
	○	○	○	◎	JABEEプログラム教育目標	B-3,C-4

授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高める。 班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。
教科書・教材	教員が編集したプリント、プレゼン資料

授　業　計　画

回次	授業項目	時間	授業内容	予習項目
1	1年間のガイダンス・PBL班	2	授業の方針・進め方等についての説明。PBL班	
2	第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、沖縄の産業・文	
3	沖縄戦―教科書問題とメディ	2	現在における沖縄戦認識の一つとして、教科書	
4	沖縄戦―軍事史としての視点	2	太平洋戦争全体の中における沖縄戦の意義、	
5	沖縄戦―軍事史としての視点	2	沖縄側の視点から日本軍の沖縄防衛計画とそ	
6	第2回PBL班会議	2	翌週のPBL中間報告の準備。	
7	PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査	
8	第3回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方	
9	沖縄戦―住民被害の実態1	2	住民被害は何故生じたのか、その背景につい	
10	沖縄戦―住民被害の実態2	2	住民被害は何故生じたのか、その背景につい	
11	第4回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ(P	
12	1・2班PBL研究発表	2	1・2班で調査した課題の最終発表と討論。(PB	
13	3・4班PBL研究発表	2	3・4班で調査した課題の最終発表と討論。(PB	
14	5・6班PBL研究発表	2	5・6班で調査した課題の最終発表と討論。(PB	
15	戦跡の現在	2	戦争体験者の報告と、当地の現在の様子をスラ	
	学習時間合計	30	実時間	25